

利用学習計画書

平成24年5月25日

担当 第6学年 大場 悦子

1 ねらい

- ・縄文の森広場の見学を通して、縄文時代の人々の生活の様子を調べ、当時の暮らしや社会の様子についての理解を深める
- ・勾玉づくりの活動を通して、縄文時代の人々の知恵を学び、道具の発達と文化の発達に興味・関心をもつ

2 評価

- ・縄文の森広場の見学を通して、縄文時代の人々の暮らしや社会の様子について理解を深めることができたか
- ・体験活動を通して、道具の発達と縄文時代の文化の発展に興味・関心をもつことができたか

3 学習活動について

社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」

縄文時代の人々の生活や社会の様子を調べさせ、集落の様子や建物、当時の食料などを後の時代と比較させ、縄文時代の特徴を理解させる

4 事前指導

- ・縄文時代の生活について、社会科の学習を通して指導し、質問や疑問点をまとめておく
- ・校外学習のねらいや見学施設等の概要、日程、留意点等についての説明を行う

5 当日の指導（活動）内容

（1）見学学習

- ・復元住居・遺構表示等の野外展示及び館内の展示見学
- ・全体で館職員の説明を聞きながら学習（探検シート利用有）

（2）体験学習 勾玉作り

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

感想の記述、新聞の作成と掲示

# 利用学習報告書

平成24年6月18日  
担当 第6学年 大場 悦子

## 1 事後指導について

### (1) 実施日

平成24年6月12日(火) 1～5校時

### (2) 主な内容

- ・社会科の授業と関連して、縄文の森広場での体験活動や見学内容を通して、古代の人々の生活の様子や文化、および自然の様子を振り返った。
- ・学級活動と関連して、公共施設を利用するにあたってのマナーやルールが守れたかどうかを確認し、次回校外学習へのめあてをもたせるようにした。

## 2 児童の感想より

- ・縄文の森広場に行って縄文人の暮らしがよく分かりました。たて穴住居の中はとても暗く煙のにおいがしました。縄文人はこんな家で暮らしていたんだなと思いました。まが玉作りは最初思うようにできず、とても苦戦しました。縄文人はこれを簡単に作ってしまうのか…と考えるとすごいなと思いました。
- ・ぼくが一番楽しかったこと、それは館内での見学です。理由は、なぜだか分からないけど、胸がドキドキわくわくしてきて、土器などを見たら興奮したからです。縄文のむらの様子を再現したジオラマの模型は、とてもリアルで縄文時代の人の暮らしがよく分かりました。
- ・縄文の森には、たくさんの自然がありました。自由に見学するときも、たくさんの木を見つけました。まが玉作りは、四角の石をブロックでけずって、やすりを使って、ワックスをぬり、ひもを通して完成です。その後に、みんなでお弁当を食べました。また行ってたくさん見てみたいと思います。
- ・縄文の森に行って一番楽しかったことは、まが玉作りです。前にも作ったことはあったけど、前よりうまく作れてよかったです。お母さんにたのんでもう一度行って、もっといいまが玉を作りたいです。それからパズルを完成させたり、土器も作ってみたりしてみたいです。
- ・ボランティアの方のお話によると、今の地層を70cm掘ると縄文時代の土器や縄文時代の地層が出てくるそうです。今は、土地が高くなったのかなと思いました。まが玉作りでもボランティアの方々に教えてもらいきれいに仕上がりに、よい経験になったなと思います。縄文時代の人々の暮らしを想像することができて楽しかったです。